

Title	『日本政治外交研究』第八号の刊行にあたって
Sub Title	
Author	清水, 唯一朗(Shimizu, Yuichiro)
Publisher	慶應義塾大学湘南藤沢学会
Publication year	2015
Jtitle	日本政治外交研究 No.8 (2015.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	慶應義塾大学日本政治外交研究会
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO92001005-00000008--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『日本政治外交研究』第八号の刊行にあたって

慶應義塾大学総合政策学部 清水唯一朗

『日本政治外交研究』は二〇〇七年度の第一号から一昨年の第七号までコンスタントに刊行されてきたが、第八号は私の在外研究のため一年あけることとなった。もつとも、この間も学生たちは休眠していたわけではない。二〇一四年十一月にはハーバード大学で日本研究に取り組む若手研究者との合同研究発表会が行われ、二〇一五年九月には台湾国立政治大学日本研究学位学程との合同研究会に臨んだ。

八年目となる日本政治外交研究会には、十三名が参加した。院生の三谷君、浜田君、小野田君、研究員の靄岡君に加え、復旦大学大学院からのD生である楮君、早稲田大学大学院から飛び入り参加してくれた松谷君が議論をより一層深めてくれた。本年二月には立命館大学上久保誠人ゼミとのインゼミも行われ、これまでにない活発な議論を楽しむことができた。関係諸氏をはじめ、本研究会を支援してくださっている皆さんに改めて御礼申し上げたい。とりわけ、台湾との学术交流に際しては湘南藤沢学会の厚い支援を頂いた。

今年には四本の修士論文、卒業論文に加えて、一本の優秀タムペーパーを収録した。小野田論文は、論争的となってきた戦没者慰霊の問題を歴史的制度論のアプローチに基いて戦前から戦後まで丹念に追ひ、今後の可能性にも言及した。濱田論文は民主党政権における「政治主導」の実態を税制改正という本丸を追うことで明らかにし、その「失敗」が実際には大きな前進であったことを示した。越村論文は政治参加が行われる条件を論理的に詰めた上で、ドイツと長野県小布施町の成功事例から具体的に論じてみせた。浜田論文は女性の「社会」参加を単純に企業への就職と捉えず、神奈川県茅ヶ崎市で展開される女性向け起業支援を例に新しい可能性を提示している。三上論文は、子どもたちの戦争認識を構築するものとして地方自治体の平和事業に着目し、早くから非核都市として活動した藤沢市における展開を明らかにした。

いずれの研究も、行政文書を含む文字資料の丹念な渉猟と当事者への積極的なインタビュー調査によってなりたっている。在外研究によるブランクにより、この研究会が大切にしてきたこれらの伝統が崩れてしまうことを案じていたが、それは杞憂であった。もつとも、ボストンから帰国したと思ったら再び台湾に飛んで行った指導教員の身勝手は、さぞ不安にさせたことと思う。不在のあいだも弛まず学びを続け、伝統を受け継ぎ、充実した研究を完成させた一人一人にあらためて敬意を表したい。